

2024年度環境経営レポート

対象期間：2024年2月～2025年1月
(38期)



① 組織の概要	1 ページ
② 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	2 ページ
③ 環境経営方針	3 ページ
④ 環境経営目標	4 ページ
⑤ 環境経営計画	5 ページ
⑥ 環境経営目標に対する実績	6 ページ
⑦ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7 ページ
⑧ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	8 ページ
⑨ 代表者による全体評価と見直しの結果	9 ページ

発行 2025年3月17日

株式会社シーピーエス

長野県茅野市豊平3222

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 シーピーエス
代表取締役社長 宮坂 孝雄
代表取締役副社長 野澤 俊彦

2) 所在地

本社・本社工場	長野県茅野市豊平3222番地
金沢工場	長野県茅野市金沢3884番地
東海事業所	岐阜県可児市大森1501-3052番地（現在対象外）

3) 環境管理責任者及び連絡先

責任者： 帯川 桂
連絡先： Tel. 0266-77-5271

4) 事業内容

プリント基板実装・電子部品組立・受託開発設計

5) 事業規模

資本金 9,600万円

売上高 1,003百万円(2024年度実績)

従業員数

本社・本社工場	56名
金沢工場	5名
東海事業所	3名

述べ床面積

本社・本社工場	1,290 m ²	
金沢工場	1,000 m ²	(賃借)
東海事業所	92 m ²	(賃借)

6) エコアクション21 認証状況

認証番号	0011562
認証登録日	2016年12月15日

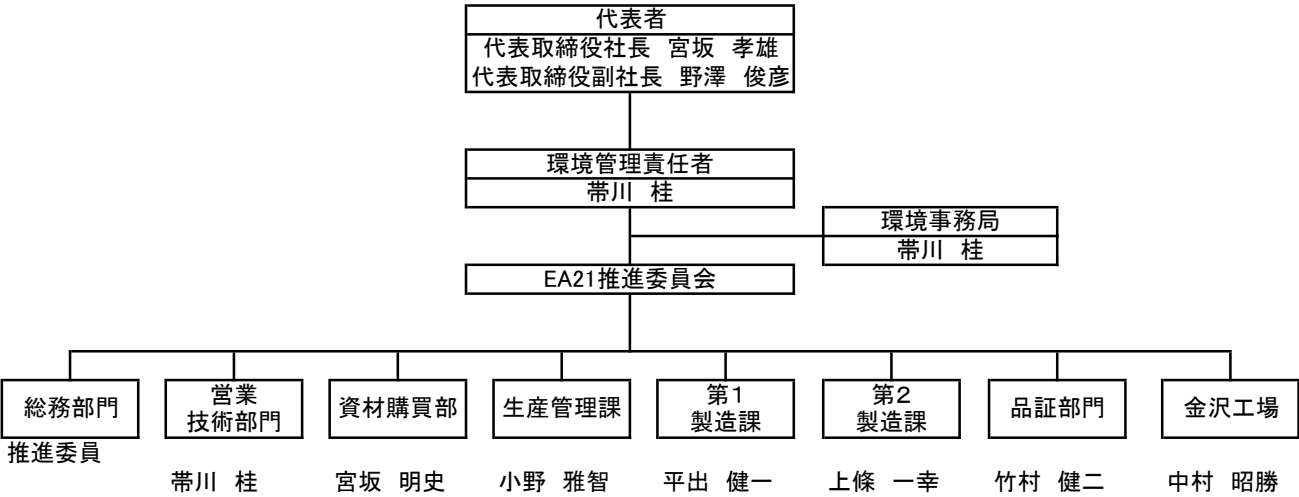
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

2-1 認証・登録範囲:本社・金沢工場

2-2 レポート対象期間:2024年2月～2025年1月(38期)

発行日:2025年3月17日

(1) 実施体制図



(2) 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者(社長) 代表者(専務)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21推進委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練計画・実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成・自部門による試行・訓練の実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
総務部	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急時の消防署、灯油漏れ時、業者への連絡窓口 ・産業廃棄物の法規制遵守確認・記録の管理 ・環境活動の実績集計
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

環境経営方針

《基本理念》

株式会社シーピーエスは、“かけがえのない地球環境を守る”ことを最重要課題とし、自然環境との限りない調和をもとめ、環境保全活動に積極的に取り組み、社会的責任を果たします。

《活動方針》

1. 企業活動における環境への影響を考慮した目的・目標を設定し、定期的に見直しを実施し、継続的な改善を行います。
 - ① 省エネルギー化による二酸化炭素削減
 - ② 使用原材料の省資源化、水資源の節水
 - ③ 製品および工場で使用する化学物質の管理・削減
 - ④ 廃棄物の削減
 - ⑤ 事務用品のグリーン購入
 - ⑥ 不良低減
2. 環境に関する法規制、および当社が同意するその他の要求事項を遵守し、環境汚染の未然防止に努めます。
3. 地域周辺への環境保全に考慮し、地域から信頼される事業活動を行ないます。
4. 環境方針は全社員および組織活動にかかわる全ての人に周知し社外に公表します。

2019年4月1日
株式会社 シーピーエス

代表取締役社長 宮坂 孝雄



4. 環境経営目標

No.	<取組項目>	単位	基準値 2023年度 (37期)	目標		中期目標
				2024年度 (38期)	2025年度 (39期)	2026年度 (40期)
1	<二酸化炭素排出量削減> 排出係数:0.452Kg-CO ₂ /kwh	Kg-CO ₂	219,865.6	4%削減	5%削減	6%削減
				211,071.0	208,872.3	206,673.7
①	電気使用量削減	Kg-CO ₂	153,124.1	4%削減	6%削減	8%削減
				146,999.1	143,936.6	140,874.2
②	灯油使用量削減	Kg-CO ₂	27,044.6	5%削減	5%削減	5%削減
				25,692.4	25,692.4	25,692.4
③	ガソリン使用量削減	Kg-CO ₂	39,696.9	3%削減	5%削減	5%削減
				38,506.0	37,712.1	37,712.1
2	<廃棄物排出量削減>	t	10.10	5%削減	5%削減	5%削減
				9.60	9.60	9.60
3	<総排水量削減>	m ³	343.0	3%削減	3%削減	3%削減
				332.7	332.7	332.7
4	<化学物質使用量削減>	Kg	77.4	5%削減	7%削減	10%削減
				75.1	72.0	69.7
5	<グリーン購入>	%	-	60%以上	60%以上	60%以上

注：購入電力の2023年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数:0.439g-CO₂/Kwh(中部電力)

5. 環境経営計画

項目	実施項目	活動内容
1. CO2排出量の削減 (1)使用電気量4%削減	ア. OA機器管理	①パソコン及び周辺機器の節電
		②プリンタの節電
		③コピー機の節電
		④シュレッダーの節電
	イ. 照明管理	①室内照明の節電
		②屋外照明・夜間照明の節電
		③不要な蛍光灯を外す
	ウ. 冷暖房管理	①エアコン使用時の温度管理
		②窓・ブラインドの適宜利用
	エ. 電動機器・設備管理	①未使用時の電源Off
		②定期メンテナンスの管理
(2)消費燃料3%削減	ア. 車両管理	①エコドライブの推進
		②各人の運転日報管理
		③不必要な車両使用削減
2. 廃棄物排出量の5%削減	ア. 一般廃棄物管理	①一般ゴミの削減
		②分別の徹底
		③裏紙使用の推進
	イ. 産業廃棄物管理	①廃プラスチック削減
		②分別の徹底
		③不良品廃棄の削減
3. 総排水量の3%削減	ア. 水管理	①トイレ・屋外水道・手洗い時の節水
4. グリーン購入拡大 60%以上	ア. 事務用品のグリーン品目購入	①グリーン品目の積極購入
		②品目洗い出し、切り替え
5. 化学物質の5%削減	ア. 化学物質の管理	①現状把握
		②使用容量の管理
		③代替品の有無・減量可能性検討
6. 環境に配慮した製造	ア. Fコスト削減	①ISO部門実行計画書による
		②半田手直し・再作成の手間削減
		③削減方法の検討

6. 環境経営目標の実績

6-1. 数値目標に対する実績

No.	<取組項目>	単位	基準値 2023年度 (37期)	目標		実績		
				2024年度 (38期)		2024年度 (38期)	結果 (%)	評価
1	<二酸化炭素排出量削減> 排出係数:0.452Kg-CO2/kwh	Kg-CO2	219,865.6	4%削減	211,071.0	198,547.7	-5.9	○
①	電気使用量削減	Kg-CO2	153,124.1	4%削減	145,467.9	139,236.8	-4.3	△
②	灯油使用量削減	Kg-CO2	27,044.6	5%削減	26,233.3	18,005.9	-31.4	○
③	ガソリン使用量削減	Kg-CO2	39,696.9	3%削減	37,712.1	41,305.0	+9.5	×
2	<廃棄物排出量削減>	t	10.10	5%削減	9.60	6.07	-36.8	○
3	<総排水量削減>	m3	343.0	3%削減	332.7	467.0	+40.4	×
4	<化学物質使用量削減>	Kg	77.4	5%削減	75.1	67.9	-9.6	○
5	<グリーン購入>	%	-	-	60%以上	51.0	-	×

(○:目標達成・△:未達だが昨年より向上・X:未達成)

注: 購入電力の2023年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数:0.439kg-CO2/KWh(中部電力)

※灯油使用量大幅減について

37期冬、金沢工場のメインの冷暖房設備を灯油式から電気式に入れ替えたことによる。

6-2. 数値目標以外の活動実績

・外部コミュニケーション活動

顧客からの意見や下記調査依頼への対応を外部コミュニケーション活動としてカウントしています。

(1)環境調査(RoHS調査、Reach調査、紛争鉱物調査)

(2)顧客アンケート

2024年度実績

環境調査	201件
顧客アンケート	25社(回答率:100%)

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

赤字＝次年度の取組

項目	実施項目	活動内容	結果	評価
1. CO2排出量の削減				
(1) 使用電気量 4%削減	ア. OA機器管理	①パソコン及び周辺機器の節電	○	駐車場外灯をLED化した影響もあり、目標値をクリアできた。 引き続き、場内のLED照明化に変更し、節電に務める。また、社員一人一人が現在の節電対策を継続する。
		②プリンタの節電	○	
		③コピー機の節電	○	
		④シュレッダーの節電	○	
	イ. 照明管理	①室内照明の節電	○	
		②屋外照明・夜間照明の節電	○	
		③不要な蛍光灯を外す	○	
	ウ. 冷暖房管理	①エアコン使用時の温度管理	○	
		②窓・カーテンの適宜利用	○	
	エ. 電動機器・設備管理	①未使用時の電源Off	○	
		②定期メンテナンスの管理	○	
(2) 消費燃料 灯油 5%削減 ガソリン 3%削減	ア. 車両管理	①エコドライブの推進	○	ガソリン車一台増えたため、ガソリン使用量増となった。 少しでも車の燃費がよくなるよう、エコドライブを徹底する。
		②各人の運転日報管理	○	
		③不必要な車両使用削減	○	
2. 廃棄物排出量 5%削減	ア. 一般廃棄物管理	①一般ゴミの削減	○	生産量減の為、廃棄物量が大幅減となった。 生産量が増えても引き続き廃棄物量が減るように一般ごみの削減に務める。また、不良品廃棄を削減する。
		②分別の徹底	○	
		③裏紙使用の推進	○	
	イ. 産業廃棄物管理	①廃プラスチック削減	○	
		②分別の徹底	○	
		③不良品廃棄の削減	△	
3. 総排水量 3%削減	ア. 水管理	①トイレ・屋外水道・手洗い時の節水	○	6-7月に漏水発生。検針時に発見。発見が早かったため、単月レベルで対応できた。 漏水の可能性は引き続きあるので、検針時に注意をする。
4. グリーン購入 60%以上	ア. 事務用品のグリーン品目推進	①グリーン品目の積極購入	○	調達品の種類により比率は左右されたが、グリーン品目優先購入は続けている。 グリーン品目優先購入の継続。
		②品目洗い出し、切替	△	
5. 化学物質 5%削減	ア. 化学物質の管理	①現状把握	○	生産減の影響で、使用量も減った。 生産量が増えても、使用量を減らす工夫をする。
		②使用容量の管理	○	
		③代替品の有無・減量可能性検討	△	
6. 環境に配慮した製造 Fコスト	ア. Fコスト削減	①ISO部門実行計画書による	○	昨年よりも大幅に減ったが、まだまだ多い。 技術向上及び確認作業の徹底。
		②半田手直し・再作成の手間削減	△	
		③削減方法の検討	○	

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用となる環境関連法規等は下記の法規制等が適用され、2025年2月19日遵守状況の確認を環境管理責任者が行なったところ、特に問題はありませんでした。

現在、環境法規制等の違反、訴訟及び苦情はありません。

また、関係当局からの違反等に関する指摘は過去3年間ありません。

改訂確認:2025年2月19日

法規制の名称	適用される事項	遵守評価	
廃棄物処理法	・一般収集業者の許可の確認 ・産廃収集運搬・処理業者の許可の確認及び契約 ・マニフェスト発行・保管 - B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合は、30日以内に知事への報告 A、B2、D、E票の保管(5年間) ・発行状況報告書の提出 ・保管基準 - 掲示板、飛散・浸透防止、衛生管理	許可証	○
		契約書	○
		報告書	○
消防法	灯油 200L以上の保管 防油堤の設置・表示板設置・届出	届出書	○
		使用期限	○
	消火器設置確認	設置場所	○
騒音規制法	空気圧縮機(コンプレッサー)7.5Kw以上 届出	届出書	○
	騒音確認:指定地域外 昼(65dB)朝・夕(65dB)夜間(55dB)	測定記録書	○
PRTR制度	対象化学物質の使用量調査	使用記録書	○
グリーン購入法	グリーンマーク商品の購入	購入管理書	○
フロン排出抑制法	空調機器の簡易定期点検の実施(四半期に1回)	点検記録書	○
家電リサイクル法	処分業者に委託及びリサイクル券の保存	リサイクル券	○
下水道法	下水道法の遵守	届出書	○

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による全体の評価と見直し 結果報告書

実 施 日	2024年2月25日			
対 象 期 間	2024年2月1日～2025年1月31日(38期)			
出 席 者	代表者(工藤専務), 環境管理責任者(帯川)			
代表者による 評価	目標項目	目標達成状況	活動計画 実施状況	目標・活動計画実施状況の評価
	二酸化炭素排出量の削減	○	○	金沢工場の冷暖房機の入替えが今期まで影響しているが、駐車場外灯のLED化等により使用電氣量が減少していることは評価出来る。
	産業廃棄物量の削減	○	○	基準値を下げてでも大幅減となっているのは、生産量が減っていることによる。生産量が増えても廃棄物削減するよう努力する。不良品の削減。
	水使用量の削減	×	○	検針時の確認により、過去にも悩まされた漏水を早めに見つけられたことは評価できる。節水に心がける。
	化学物質使用量の削減	○	○	目標は達成されたが、機械の故障による多量の使用があった。日頃からしっかりメンテをすること。
	グリーン購入の推進	×	○	グリーン購入できる品は必ずグリーン品購入を継続。
代表者による 見直し	【環境経営方針】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 現在の環境経営方針を維持する。			
	【環境経営目標】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 現在の環境経営方針を維持する。			
	【環境活動】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 現在の環境活動を維持する。			
	【実施体制】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 現在の実施体制を維持する。			
	【環境経営システム】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 現在の環境経営システムを維持する。			
	【総括】 基準値を変えたが、全体的にマイナス傾向で良い結果となっている。但し、生産量に左右される部分が多々あるので、引き続き削減できるよう策を講じる事。 イレギュラーなことが発生すると削減に影響が出るため、日頃から問題が発生しないよう各部門に徹底させること。			
代表者による 指示	場内照明をLED化することを検討する。			